

校内研究の実際 「道徳科の授業の充実」

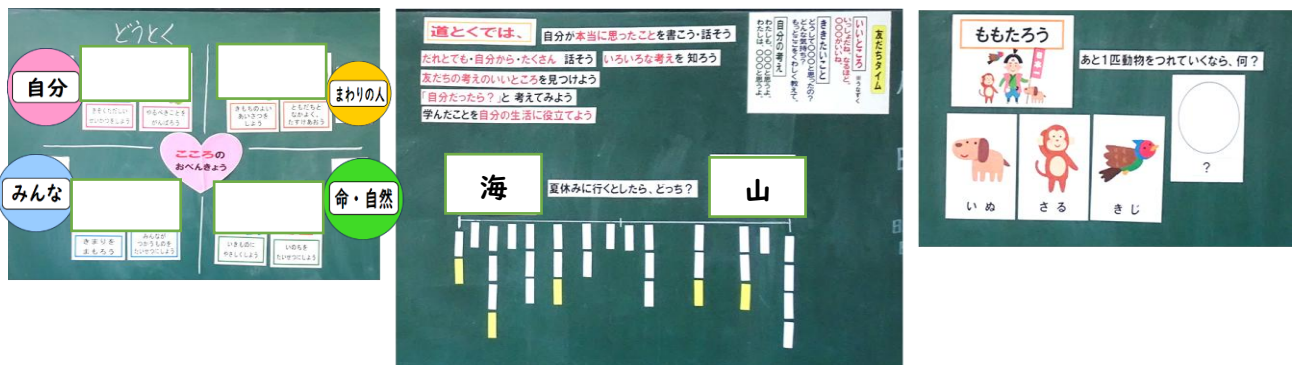
(1) 道徳教育の四つの視点の明確化

道徳教育の四つの視点を「四つの心」と名付け、「A 主として自分自身に関すること」を「自分」、「B 主として人との関わりに関すること」を「まわりの人」、「C 主として集団や社会との関わりに関すること」を「みんな」、「D 主として生命や自然、崇高なものとの関わりに関すること」を「命・自然」と表現し、日本文教出版教科書のアイコンに言葉をつけ、表示した。板書やワークシート、掲示物などで使用している。



(2) 年度当初の道徳科オリエンテーションの実施

年度当初の授業では、全クラスで道徳科のオリエンテーションを実施する。



主な内容

- ・これまでの道徳授業の振り返り
- ・道徳科の意義について
- ・「四つの心」や内容項目の確認
- ・友達との交流のしかたなど

【交流テーマ】

- 2年:好きな動物は何？ その理由は？
- 3年:「桃太郎」あと1匹連れていくなら？
- 4年:夏休みに行くとしたら、海？山？
- 5年:「大きなかぶ」一番がんばったのは誰？
- 6年:無人島に一つだけ持っていくとしたら何？

(3) 授業づくりの工夫

授業の流れを全校で統一し、それに沿って指導計画を立てる。

1 気づく(導入)

教材の内容や道徳的価値に関する導入

2 考える(展開前段)

教材で道徳的価値を知る・考える

3 深める・広げる(展開後段)

自己との関わりで考え、道徳的価値を深める・広げる

4 見つめる(終末)

道徳的価値や自分の生き方を振り返る

5 今日の学習の振り返り(自己評価)

必ず、交流活動（友達タイム・みんなでタイム）を入れる。

自己との関わりで考えたり、自己の生き方を見つめたりする時間を入れる。

発問を考える際は、二人一組になり、指導者役と児童役になって実際にやりとりを試みる。やりとりをすることで適切でない発問がわかり、修正しながらより効果的な発問を考えられる。

また、先に授業をした学級の指導者は、授業の改善点を後から授業をする学級の授業者に伝える。そうすることで、発問やワークシートを改善することができ、より充実した授業づくりにつなげることができる。

学期末には、指導者の道徳授業の振り返りを行い、課題や今後の取組について考える。

1学期の道徳授業の振り返り (1・2年)

① ◎○△で、振り返ってみましょう。

	1年	2年
授業の教材は、学年でそろえたか。		
授業の流れ・発問などについて、学年で話し合いができましたか。		
先に授業をしたクラスは、次のクラスへアドバイスができましたか。		
「4つの心」を使いましたか。(黒板・ワークシート)		
授業に、「交流(対話・議論)活動」を入れましたか。 (「友達タイム」「みんなでタイム」)		
週末に「家族でタイム」ができるように、カードを配ったり、保護者に呼びかけたりできましたか。		
作成した教材は、共有できるように保存していますか。 (①道徳セットとして袋に入れる ②共有フォルダにデータを保存する) ※新しい教科書の挿絵や新しい4つの心に合わせて、作り変えましたか。		
クラス掲示版に、授業で学習した教材カードを掲示しましたか。		
「グループで共通して行う取組」を行うことができましたか。		

② 2学期にむけて(グループの取組)

- 授業の教材は、学年でそろえたか。
- 授業の流れ・発問などについて、学年で話し合いができたか。
- 先に授業をしたクラスは、次のクラスへアドバイスができたか。
- 「四つの心」を使ったか。(黒板・ワークシート)
- 授業に、交流活動(友達タイム・みんなでタイム)を入れたか。
- 週末に「家族でタイム」ができるように、カードを配ったり、保護者に呼びかけたりできたか。
- 作成した教材は、共有できるように保存しているか。(新しい教科書に合わせて作り変えたか。)
- クラス掲示版に、授業で学習した教材カードを掲示したか。
- 「グループで共通して行う取組」を行うことができたか。

(4) 自分の考えを明確化させるための工夫

思いを伝え合う活動を充実させるためには、まず、児童に自分の考えをしっかりとらせることが重要である。そこで、**静かにじっくりと自分で考える時間「一人でタイム」**を設定した。

書くことに慣れていない一年生や考えることが苦手な児童のワークシートには、書き出しの言葉を指定することで、考えをまとめやすくした。

① 「わたし」が ひむかかるとをつくってみたいとおもったのは、
どうしてでしょう。

わたしも、『ひむかかると』をつくってみたいな。
なぜかというと、

挿絵

② きょうの どうとくて、かながえた ことを かきましよう。

うそばかりついていると ()

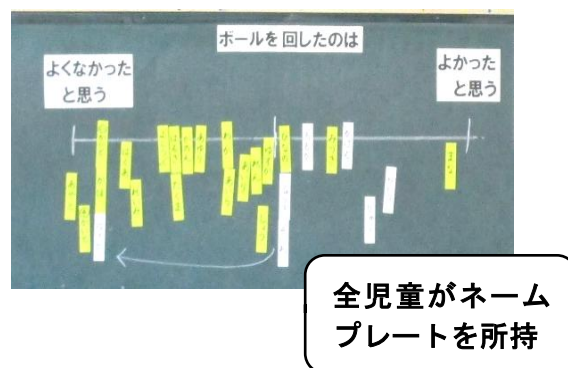
自分の考えを表現するための手立てとして、お面やネームプレートを使った役割演技や、心のものさし、表情絵、ハートグラフなどを活用している。表情絵は、番号をつけることで心情を選びやすくした。声を出さずに、指で番号を示すこともできる。ハートグラフは、学年の発達段階に合わせて円盤型とハート型を使い分けている。

これらの工夫を通して、自分の考えを表現することが苦手な児童も考えを表現しやすくなり、思いを伝え合うことができた。

【役割演技】



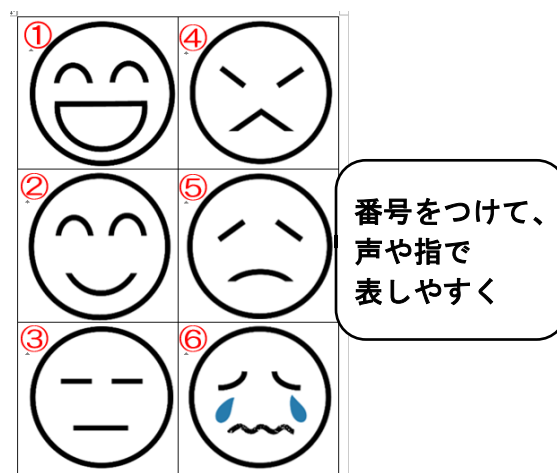
【心のものさし】



【ハートグラフ】



【表情絵】



(5) 交流のさせ方の工夫

自分の考えを広めたり深めたりさせるためには、友達との考えの交流の充実が不可欠である。そこで、ペア、グループ、旅行型等の形態で考えを交流する時間を「友達タイム」、学級全体で交流する時間を「みんなでタイム」と設定した。

めざす交流の姿を低・中・高学年ごとに設定し、交流の際の約束事やめあてを児童に意識させるようにした。

【交流における目指す児童像】

低学年	<ul style="list-style-type: none"> ・楽しんで伝え合う。 ・比べながら聞く。(にている・少し違うなど) ・友達の考えに対して、言葉を返す。 ・書いたことだけでなく、その場で考えたことを話すことができる。
中学年	<ul style="list-style-type: none"> ・話す、聞くの基本をもとに、自分の言葉で返せる。 ・友達の考えをしっかりと聞き、同じところや違うところを確認する。
高学年	<ul style="list-style-type: none"> ・話し手の考えと自分の考えを比べながら、自分の言葉で対話することができる。 ・自分と違う立場の意見を認め、対話をつなげることができる。

また、「友達タイム」の際に話す観点を低・中・高学年ごとに示した。

【低学年】

ともだちタイム

くらべて
おなじ。
(ちよう)ちがう。
いいところ
いいね。なるほど。
たしかに。
※うなずく

ききたいこと
どうして? なぜ?

【中学年】

友だちタイム

いいところ
いいよだね。なるほど。
○○がいいね。
※うなずく

ききたいこと
どうして○○と思ったの?
どんな気持ち?
もつこをくわしく教えて。

自分の考え
わたしも、○○○と思うよ。
わたしは、○○○と思うよ。

【高学年】

友だちタイム

いいところ
○○がいいね。
そういつ考えもあるね。
※うなずく

ききたいこと
どうして○○○と思ったの?
どんな気持ち?
くわしく教えて。

自分の考え + 根きよ
わたしも、○○○と思うよ。
わたしは、○○○と思うよ。

根きよ + 経験
なぜなら…
自分だったら…

(6) 評価方法

① 授業記録シート

授業での児童の発言、反応(つぶやき・うなずきなど)、交流の様子などを記録しておく。

月 日() 教材名「 』	
発言	
反応 つぶやき うなずき など	
友達 タイム (交流の 様子)	
その他	

② ワークシート

ワークシートには必ず「今日の道德の振り返り」欄を設け、児童に花丸・二重丸・丸・三角で自己評価をさせる。

児童の自己評価は、児童自身の評価だけでなく、指導者の授業評価としても見ることができる。花丸や二重丸が少なく三角が多い授業は改善の余地があり、今後の授業づくりの課題となる。

【今日の道德のふり返り】 ◎○△

- ・「○○○」について、しんげんに考えることができた。()
- ・自分の考えを伝えたり、友だちの考えをしっかりと聞いたりすることができた。()
- ・友達の考えを聞いて、「なるほど」とか「いいね」とか思うことがあった。() ※低学年
- ・友達の考えを聞いて、自分の考えを広げたり深めたりすることができた。() ※中・高学年
- ・これまでの自分やこれからの自分について、考えることができた。()

③ 学期の振り返りシート

このシートを使い、学期末に振り返りをさせる。

「自分の考えをもち、友達に伝えることができたか」「友達の考えを聞いて、いろいろな考えを知ることができたか」「友達タイムやみんなでタイムで、自分の考えを深めたり広げたりすることができたか」「これまでの自分やこれからの自分のことを考えることができたか」等の質問や、「心に残った教材とその理由」、「自分がのびすことができたと思う四つの心」などの記述欄がある。

その学期の評価はもちろん、学期ごとの振り返りシートを比較することで、児童の成長の様子の見取りとして活用できる。

1学期の道德のふり返り (4~6年生用)				
()年()組()番 名前()				
① 1学期の道德の学習で、自分に合った、得意なところに力を入れて学習しよう。				
しんげんに考えることができたか。	○	◎	△	▽
自分の考えを伝えたり、友だちの考えをしっかりと聞いたりすることができたか。	○	◎	△	▽
友達の考えを聞いて、「なるほど」とか「いいね」とか思うことがあったか。	○	◎	△	▽
友達の考えを聞いて、自分の考えを広げたり深めたりすることができたか。	○	◎	△	▽
これまでの自分やこれからの自分について、考えることができたか。	○	◎	△	▽
② 1学期の道德の学習で、自分に合った、得意なことに力を入れて学習しよう。				
<div style="border: 1px solid black; height: 40px; width: 100%;"></div>				
③ 1学期の道德の学習で、自分に合った、得意なことに力を入れて学習しよう。				
教材の題名	理由(できるだけ詳しく書こう。)			
.....			
.....			
.....			
④ 1学期の道德の学習を通して、あなたがのびすことができたと思う4つの心を書こう。				
四つの心	理由			

(7) 授業研究会の実施

全校授業研究会を3回、グループ授業研究会を6回、計9回の授業研究会を行い、研修を深めることができた。全校授業研究会では、浜崎小学校 金丸ゆか先生を講師に招き、助言・ご指導をいただいた。

2学期以降の研究授業の学習指導案は夏期休業中に作成することにした。夏期休業中に研修時間を設け、グループで話し合ったり金丸先生からご指導をいただいたりすることで、2学期以降の業務負担を減らすことができた。

(8) 年間カリキュラムの見直し

年度末に、学年ごとに年間カリキュラムの見直しを行う。その際、他教科等とのつながりで単元化できるものはないか考え、次年度でのよりよい授業づくりにつなげていく。

(9) 教材・資料の共有化

作成した教材や資料は、道徳教材コーナーの教材袋に紙媒体として保管し、データはパソコンの学年教材ごとのフォルダに保存している。

また、異動の際には、そのデータを新任校で活用することを推奨している。そうすることで、本校だけでなく地域の道徳教育を充実させていくことができると考える。

【道徳教材コーナー】授業セット



()年 23

二わのことり 日
みんなとなかよく
B 友情 信頼

入っているもの ()

挿絵	<input type="checkbox"/>	ワークシート	<input checked="" type="checkbox"/>
本特案		本文	
板書計画	<input checked="" type="checkbox"/>	お面	<input type="checkbox"/>
		ペンアート	<input checked="" type="checkbox"/>

【道徳教育フォルダ】データ

01 授業教材 (学年別)
02 4つの心
03 ワークシート書式
04 授業づくりシート・授業記録
05 学習指導案 書式
06 教室掲示用・教材カード
07 表情絵
08 道徳アンケート
09 道徳授業のふり返り (児童)
10 道徳授業の振り返り (職員)
11 サッキーカード・サッキーファイル
12 さくらカード
13 家族でタイム
14 ふれあい道徳教育
15 全体計画・別案
16 交流「友だちタイム」観点
サッキー画像

1年
2年
3年
4年
5年
6年

挿絵
ワークシート「マンガ家 手塚治虫」
動画：手塚治虫
板書写真・本時の流れ
板書用の言葉

1 のび太に学ぶ【生きる喜び】
2 「命」【D生命の】
3 あいさつ運動【性】
4 マンガ家 手塚治虫【A個性の伸長】
5 やさしいコウちゃん【B親切、思いやり】
6 通学路【C規則の尊重】
7 美しい夢-ゆめびりか-【C伝統と文化の...】
8 ソフトボールに恩返しを-上野由枝子-
9 サタデーグループ【C勤労、公共の精神】
10 ひとふみ十年【D自然愛護】
11 母さんの歌【D感動、畏敬の念】
12 ぼくたちの夏休み自由研究【A善悪の判...】
13 古い【ケツ】【B友情、信頼】

校内研究の実際

「学校の教育活動全体を通じて行う道徳教育の充実」

(1) 「サッキーカード」と「サッキーファイル」の活用

「サッキーカード」は、行事や総合的な学習の時間などの際に活用する全校共通のカードで、「サッキーファイル (キャリアパスポート)」に保管していく。

活動前に自分のめあてを記入し、活動後に振り返りを行う。自分の頑張りやその活動で見つけた友達のよさ、自分がのびすことができたと思う四つの心などを記入する欄がある。このカードを用いることで、自分の頑張りや成長を記録することができる。また、友達のよさを見つけ紹介し合うことで、自他のよさを認め合うことにつながると考える。

保護者からのコメント欄もあり、カードを保護者に見せることで、保護者にも児童の頑張りや成長を知ってもらうことができる。また、保護者からのコメントが児童のやる気や自己肯定感を高めることになる。

サッカーカード **小学校最後の運動会**
 (6)年()

《自分のめあて》
勝っても負けても、いい思い出の運動会にする。全校みんなの気持ちを一つにするようにしよう。

《ここから下は、終わった後に書きましょう。》

① 自分のがんばったことや、めあてのことなど、感想をかきましょう。

負けたけどいい思い出の思い出。すべての競技を本気で楽しんでやるのができた。応援合戦ではピラミッドがはじいて立てた。下級生は3年生を前に6年生を中心に今までを練習してきたことを全に出した。全校みんなの気持ちを一つにすることができた。

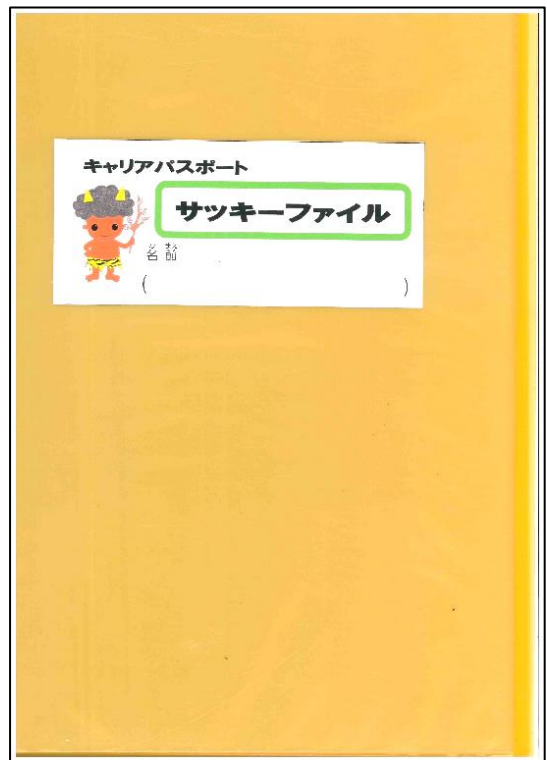
② この活動で見つけた 友だちのよさ(がんばり)を教えてください。

白組のみんなと一緒に頑張る気持ちで頑張った。応援合戦のピラミッドがはじいてくれたので、白組全員ががんばったと思います。

③ あなたが のびすことができたと思うことは、どれですか？ ○でかきましょう。

自分 (理由) みんなと助け合いながら気持ちを一つに出来た。悲しき喜びも自分で分かち合えた。運動会の練習を、白組でがんばってきたから。

みんな (理由) 本音にみんなよく頑張った。応援合戦の声の大きさを、みんなが分かっていて、よく練習と頑張った。みんなが感動した。試合優勝できなかったけど、それに負けずに頑張った。みんなのみんなが頑張った。



(2) 「道徳アンケート」の実施

道徳科や道徳的価値に関する児童の意識を把握し、その変容を捉えることをねらいとして、5月と12月の年2回、全校児童に道徳アンケートを実施している。

質問は、「学び方・実生活」に関する3項目と、道徳教育の内容項目に関する19項目の計23項目。質問に対し、「そう思う(できている)」「だいたいそう思う(だいたいできている)」「あまりそう思わない(あまりできていない)」「そう思わない(できていない)」の4つから選んで回答する。

「そう思う」「だいたいそう思う」を「肯定的意見」として、各学年・全校で集計し、それぞれの結果の分析を行い、改善策を考え実践している。

(3) 環境整備

① 学級の道徳掲示板

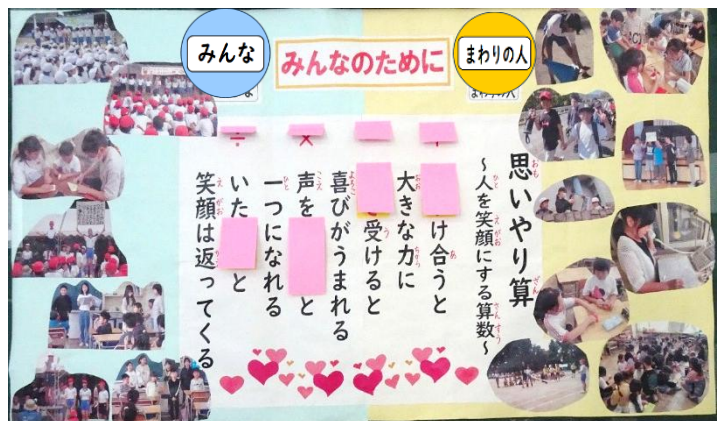
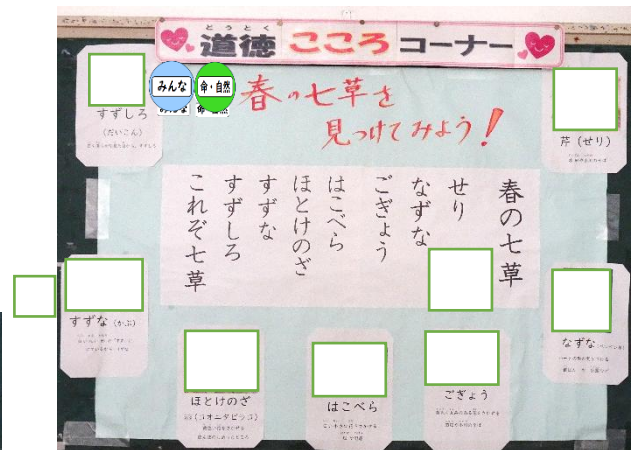
学習した教材のカードを四つの心に分類して掲示していく。

児童が見やすい場所に掲示することで、いつでも学習の振り返りができるようにしている。



② 全校道徳掲示板「こころコーナー」

全校児童が必ず通る児童玄関前に設置している。道徳科で学習した内容を紹介することで、他の学年の児童もその内容について興味をもったり、考えたりできることをねらいとしている。



③ サッキーの笑顔の木

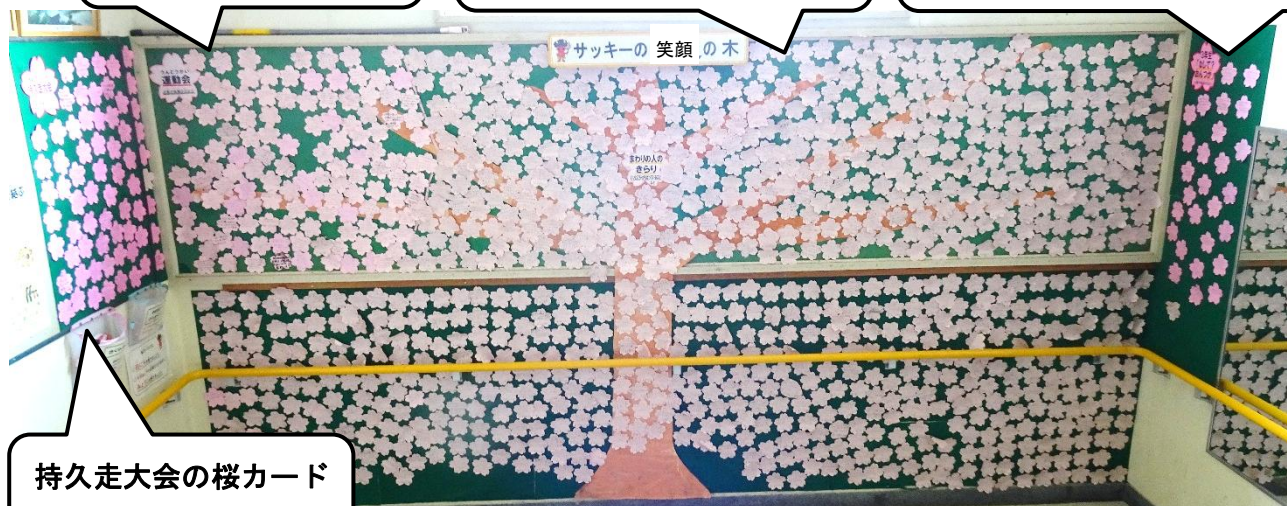
保護者や地域の方からの桜カードや、児童が友達によさや頑張りを見つけて書いた桜カード、教員が児童にむけて書いたカードを掲示している。桜カードを掲示することで、よさや頑張りを見視覚化し、自分や友達によさに目を向けることを促している。

ほぼ毎日給食時の放送で、担当委員会の児童がコメントを紹介している。たくさんのコメントを聞くことで、児童の桜カードへの関心が高まっている。

運動会の桜カード
(保護者・地域の方から)

児童や教員が書いた桜カード
まわりの人の頑張りやよさ

3年生「なして、おんつか？」
桜カード (保護者・地域の方から)



持久走大会の桜カード
(保護者・地域の方から)

④ さくらボックス

昨年度までの桜カードを入れておく箱。

外から桜カードの量が見えるようになっており、学校全体の桜カードがたくさんになったことがわかる。

児童がいつでも自由に取り出して見ることができるよう、校長室前に置いている。

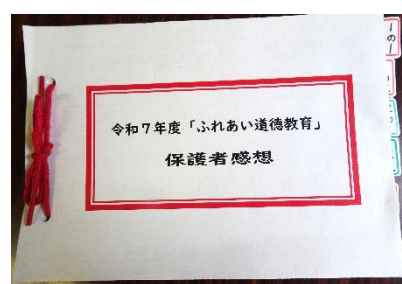


校内研究の実際 「家庭・地域との連携」

(1) ふれあい道德教育

「ふれあい道德教育」の授業参観では、必ず参観者との交流の時間を設けている。参観者と考えを交流することで、児童の考えがより深まったり広がったりすることをねらいとしている。また、道德科の授業が他者との対話を重視していることについての保護者・地域の方の理解も促している。

授業後には、「ふれあい道德」の感想を記入してもらい、児童や他の保護者・地域の方に紹介する取組も行っている。



1年生の授業では、数人の保護者に前に出てもらい、親の立場での考えを話していただく時間も設けた。

【保護者の感想】

- 普段からどのように道德の授業を受けているのかがよくわかり、良かったです。家族でタイムの時にいつもしっかりお話してくれるのは、こんな授業のおかげなんだなと思いました。ひとつひとつの題材を大切にされていることで、子どもの心がすくすく育っていると感じています。みんなで声を合わせて「へーんしん!」とっても可愛かったです。ありがとうございました。(1年)
- 前半は少し緊張していた子どもたちでしたが、後半はおうちの人から自分の良いところをきいて、とても嬉しそうでした。一番最後に、クラスみんなが自分の良いところを発表でき、個人からクラス全体へと良さを共有できていました。友だちの良いところを見つけ合い、これからも仲良く成長し合えたら嬉しいです。(2年)
- 自分が道德の授業を受けた40年程前よりも教材や表情マークの活用など、ハード面ソフト面、進化していると感じました。1時間という短い時間でしたが、我が子が自分なりに頑張っ手て手をあげたり、友達と関わったりしている姿を見て、安心しました。先生方、いつもどうもありがとうございます。(3年)
- とても素敵な道德の授業で、参観している私が夢中になってしまいました。4年生というこの年齢でどう生きるかを考え、熱い思いを持てるきっかけがたくさんあればいいなと思いました。みんなどんなことを考えて、感じたのかなあと、想像して、大人も考えさせられる授業でした。(4年)
- 同年代の子の詩を通して、普段の自分を振り返り、「命」について考えている子供達の様子を見ることができました。友達タイムで意見交換をしたり、手を挙げて発表したりしている姿に成長を感じました。私自身は、昔手術室のモニターで見た、患者さんの力強く鼓動するおき出しの心臓を思い出していました。自分の心臓は自分で見ることはできませんが、辛いことや苦しいことや悲しいことがあった時は、胸に手を当てて自分の鼓動(生きようとする力)を感じたいと思います。(5年)
- 娘が携帯電話が欲しいと言ってきかない時があったため、今回の学習は親子にとって大変有難かったです。中学生になって持たせる時に、必ず約束事をして、子供にとって大事な心身や夢を壊すことのないようにすべきだと改めて感じました。TV、ゲーム、タブレット等も同様だと思いました。とても有意義な時間をありがとうございました!! そして、クラスの一人ひとりが積極的に挙手をして発言できる雰囲気が素晴らしかったです。(6年)

② サッキーカード

《おうちの人から》が、こうをやすんで、れんしゅうできない日もあったけどうんどうかいでは、ダンスじょうずでした。かけっこは、ころばずにはしれて、おかあさんはほっとしました。よくがんばったね、かこよかったよ！

(4) ハグハグ大作戦

一週間、家族とハグをしようという取組である。家族とハグをしてスキンシップを図ることで、家族の愛情を再認識させ、自己肯定感を高めさせることをねらいとしている。

家族の誰とハグをしたか毎日用紙に記録し、振り返りを行う。保護者からもコメントを記入してもらう。

全校共通の宿題にしているが、取組が難しい家庭もあるので、できる範囲でよいことを事前に知らせてから実施する。

【児童の感想】

- みんなハグしてくれて、うれしかった。(1年)
- みんながえがおになったから、じぶんもえがおになれた。(1年)
- ハグハグ大きくせんで、家ぞくのみんなどぎゅうしてよかった。(2年)
- わたしは、かぞくみんなとハグをして、かぞくがわたしに♡あい♡をしているっていうことをして、まいにちかぞくとハグをしようとおもいました。(2年)
- すごくよかった。これからもつづけていきたい。(3年)
- ハグをしたら、心がおちついて、とてもうれしかったです。(3年)
- これからもハグをして、仲をふかめたいです。(4年)
- ハグをしてはずかしかったけど、あたたかい気持ちになりました。これからもしていきたいと思いました。(4年)
- 家族とのきよりがもっとちぢまったと思ったので良かったです。そして、これからもサボらずにやっていきたいです。(いろんなこと)(5年)
- 最近あまりハグできてなかったけど、久しぶりにハグをして、とっても安心できたし、少し心がおちついたような気がしました。(5年)
- この一週間、毎日することができた。はすかしかったけれど、心も体もあったかくなったので、次こういうきかいがあるとうれしいです。(6年)
- ハグハグ大作戦をしてみて、ママとはしていたけどふだんしないパパと妹とハグができ、よりいっそう家族の仲が深まったと思います。これからも続けていきたいです。(6年)

【保護者の感想】

- お姉ちゃんは恥ずかしそうにこの作戦に取り組んでいましたが、弟は積極的に「ハグ〜ッ」と言って笑顔いっぱいに取り組んでいました。2人の小さい頃を思い出して、心が温かくなりました。(1年)
- 妹とハグをして、「プニプニして可愛いね。」と伝えている姿にほっこりしました。お父さんも、子どもたちに両側から抱きしめられて、嬉しそうでした。この機会を作っていただいて、感謝です。(2年)
- 毎日、1歳の次女に手をとられ、長女とのスキンシップが減っているのではないかと、気になっていました。ハグハグ大作戦では、毎日家族みんなでハグをしました。長女は小3ですが、ハグをすると、とてもニコニコで嬉しそうでした。改めてスキンシップの大切さを考えさせられました。毎日のハグをこのまま続けていきたいです。(3年)
- 日々、私の気分次第でハグをしているので、今回も嫌がらずに、手を広げると近付きハグしてくれました！ その時は笑顔で受け入れてくれるので、とてもかわいいです！ 次は5年生。いつまでしてくれるかな〜♪(4年)
- 普段はもうハグもしなくなかったので、今回ハグハグ大作戦で久しぶりにハグが出来て嬉しかったです。出来ればもっと身体を密着させてほしかったですが、少し手だけになるところが5年生になったんだなーと少しさみしくもあり、成長を感じました。(5年)
- 6年生になって、“オレ、もう6年生よ!!” とハグを拒む様になっていました。年頃だからと諦めていましたが、この一週間ハグをして、成長をとて感じる事ができました。子供だけでなく、親も子供から心の栄養をもらえた様に思います。(6年)

(5) 地域との交流

地域の方の協力をもとに、学年ごとに様々な交流を行っている。地域の方と交流を行い、児童は地域の自然や文化に触れ、様々な体験をすることができている。



1年生「れんげ畑に行こう」



1年生「むかしあそび」



2年生「町たんけん」



3年生「なして、おんつか？」(地域の歴史の人形劇)



3年生「大谷川散策」



4年生「工業高校との交流」



5年生「米作り」



5年生「がんばるーんゲーム」

など

(6) 道徳だよりの発行

月1回程度の発行で、ホームページに掲載したり、地域の公民館に配布したりしている。

「四つの心」や道徳科についての説明、授業の様子、学習内容の紹介、保護者や児童の感想紹介、道徳アンケートの結果などを掲載することで、本校の道徳教育について情報を発信し、保護者や地域への道徳教育の啓発を促している。